

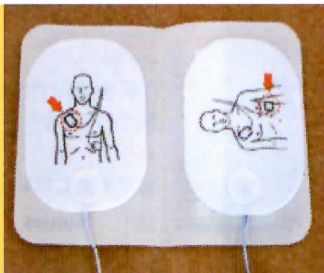
# AEDの到着!

## AEDの使用手順

- ① AEDを傷病者の近くに置き、ケースから本体を取り出します。
- ② 電源ボタンを押します。  
※ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。  
以降は音声メッセージに従って操作します。



- ③ 電極パットを体に貼ります。  
電極パットに書かれているイラストの位置にしっかりと貼り付けます。  
**ポイント**  
【貼り付け時の注意点!】  
・傷病者の胸が濡れている → 「拭く」  
・胸に貼り薬がある → 「はがして拭き取る」  
・ペースメーカーなどの埋め込みがある → 「避けて貼る」  
※パットのコネクターをAED本体に接続します。



- ④ AEDの指示に従い「ショックが必要です」と判断されたら「ショックします。みんな離れて!」と注意を促します。誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタン(点滅ボタン)を押します。

電気ショックが完了すると「直ちに胸骨圧迫を開始して下さい」などの音声メッセージが流れますので、これに従ってただちに胸骨圧迫を再開します。「ショックは不要です」のメッセージが流れた場合も同様です。

**ポイント**  
胸骨圧迫の中断はできるだけ短くすることが大切です。

2分間おきにAEDは自動的に解析を行います。  
以後は、心電図の解析、電気ショック、心肺蘇生の手順を救急隊が到着するまで繰り返します。



### 【AED取扱い時の注意点】

- ☆全年齢に使用できます。
- ☆未就学児(おおよそ6歳まで)には小児用パットを使用しましょう。  
(小児用が無ければ成人用で代用します)



## AED(自動体外式除細動器)とは・・・

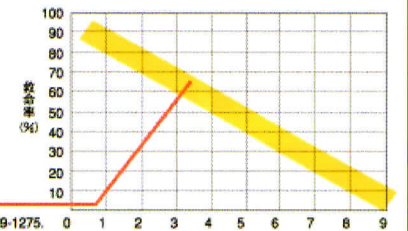
心臓がけいれんしている状態(心室細動)の時に電気ショックを与えてけいれんを取り除き、正常な状態に戻す機械です。

## 心室細動とは・・・

心臓の筋肉が不規則にブルブルと震え、全身に血液を送り出すというポンプの役割を心臓が果たせない状態で、そのまま放置すると死に至ります。



## 心室細動と救命率



蘇生のチャンスは1分ごとに7-10%低下するといわれています。

Adapted from text: Cummins RO, Annals Emerg Med. 1989, 18:1269-1275.

## 救命の連鎖



「救命の連鎖」は[心停止の予防][心停止の早期認識と通報][一次救命処置][二次救命処置と心拍再開後の集中治療]の4つの輪で成り立っており、この4つの輪が途切れることなく素早くつながる事で救命効果が高まります。

特に「救命の連鎖」の最初の3つの輪が現場に居合わせた人により積極的に行われる事で、生存率や社会復帰率が高まります。